

## 令和元年度第3回 県立病院経営委員会 議事概要

- 1 日 時 令和元年 11 月 6 日（水） 17:00～19:00
- 2 場 所 自治会館 別館 902 会議室
- 3 出席委員 別紙「出席者名簿」のとおり
- 4 主な意見

### 議題（1）県立病院の役割・あり方に関する提言（案）

- ・ 類型別の役割・あり方に関する委員意見の中で、「療養型か介護医療院などへの転換を検討すべき」とあるが、回復期病床への転換があまりされていない状況では、一般病床の機能を回復期の機能へと転換するという方がよいのではないか。

### 議題（2）「新潟県病院事業の取組方針」に関する平成 30 年度の取組状況と評価（案）

- ・ 医業収支比率を評価項目としているが、公立病院は、人件費の中に含まれている公務員特有の費用や、政策事業であるがんセンターや周産期等の高度医療に係る費用は、診療報酬で十分に想定されていない。これらの費用が医業費用に含まれている中、診療報酬などの医業収益と政策経費が含まれた医業費用で評価するのは非常に不公平であり誤解を招くのではないか。

### 議題（3）新潟県病院事業の経営改善に関する緊急的な取組（案）

#### 第 1 章 経営改善に関する緊急的な取組策定の背景

- ・ 県全体の財政状況について、もう少し全体像を示す必要があるのではないか。

#### 第 2 章 経営改善に関する緊急的な取組

- ・ 費用削減ではなく、職員の重点配置などにより収益の向上をもっと前面に出したらどうか。
- ・ 収益の向上となると、医師の経営参画意識の向上が非常に重要ではないか。
- ・ 医療には人材が必要であり、看護師の採用を控えたりすると、次の世代が育ってこないなど、将来的に問題が出る可能性があるため、慎重に対応する必要がある。
- ・ 材料費が増えており、値引きの底が見えている中で、数量のインパクトの方が明らかに大きいため、効かないものは使わないなど総点検を取り組んだらどうか。
- ・ 診療情報管理士をプロパーで採用し、医療の質の向上を図ったらどうか。

#### 第 3 章 県立病院の役割・あり方

- ・ p43 の相関図だが、民間に対して県立と市立しかなく、このほかにも国所管や公的病院もあるため、簡略化しすぎではないか。
- ・ 役割・あり方を見直すだけでなく、基幹病院から医師を派遣し、外来機能は更に充実するのだというメッセージを載せた方がいいのではないか。

### 全体を通じて

- ・ 診療所化するが、基幹病院からの医師派遣により外来は充実させるなど、もう少し踏み込んだ改革案にしてほしい。
- ・ 緊急的な取組ということであれば、実効性と具体性が明確に示される必要がある。

令和元年度第3回県立病院経営委員会 出席者名簿

【1号委員】

役職	氏名	所属・職名	備考
委員長	染矢 俊幸	新潟大学 医学部長・医歯学系長	
副委員長	堂前 洋一郎	(一社)新潟県医師会 理事(新潟万代病院 院長)	
委員	望月 泉	八幡平市病院事業管理者	
委員	斎藤 有子	(公社)新潟県看護協会 会長	
委員	谷田 一久	(株)ホスピタルマネジメント研究所 代表取締役	
委員	高橋 信太	高橋公認会計士事務所 所長	

【2号委員】

役職	氏名	所属・職名	備考
委員	佐藤 信昭	県立がんセンター新潟病院 院長	
委員	塚田 芳久	県立新発田病院 院長	
委員	長谷川 正樹	県立中央病院 院長	欠席
委員	吉嶺 文俊	県立十日町病院 院長	
委員	太田 求磨	県立柿崎病院 院長	
委員	長谷川美津枝	県立松代病院 看護部長	
委員	下條 文武	病院局 参与	欠席